

保健師助産師看護師学校養成所指定規則(抜粋)

参考資料4

別表一（保健師学校養成所）

教育内容	単位数	備考	
地域看護学	12(10)	学校保健・産業保健を含む。	
地域看護学概論	2		
個人・家族・集団の生活支援	} 10(8)		
地域看護活動展開論			
地域看護管理論			
疫学			2
保健統計学	2		
保健福祉行政論	3(2)		
臨地実習	4		
地域看護学実習	4		保健所・市町村での実習を含む。
個人・家族・集団の生活支援実習	2		継続した訪問指導を含む。
地域看護活動展開論実習	} 2		
地域看護管理論実習			
合計	23(20)		

※別表一の()は下記の備考二を参照

別表二（助産師学校養成所）

教育内容	単位数	備考
基礎助産学	6(5)	実習中の分べんの取扱いについては、助産師又は医師の監督の下に学生一人につき十回程度行わせること。この場合において、原則として、取扱う分べんは、正期産・経膈分べん・頭位単胎とし、分べん第一期から第三期終了より二時間までとする。
助産診断・技術学	6	
地域母子保健	1	
助産管理	1	
臨地実習	9	
助産学実習	9	
合計	23(22)	

※別表二の()は下記の備考二を参照

別表三（看護師学校養成所）

教育内容		単位数	備考
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	13	看護師学校養成所のうち第四条第一項に規定する課程を設けるものと併せて指定を受け、かつ、その学生又は生徒に対し一の教育課程によりこの表及び別表三に掲げる教育内容を併せて教授しようとするものにあつては、括弧内の数字によることができる
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度	15 6	
専門分野Ⅰ	基礎看護学 臨地実習 基礎看護学	10 3 3	
専門分野Ⅱ	成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 臨地実習 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学	6 4 4 4 4 16 6 4 2 2 2	
統合分野	在宅看護論 看護の統合と実践 臨地実習 在宅看護論 看護の統合と実践	4 4 4 2 2	
合計		97	

別表三一二（2年課程）

教育内容		単位数	備考
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	7	備考一 単位の計算方法は、大学設置基準第二条第二項の規定の例による。ただし、通信制の課程においては、大学通信教育設置基準（昭和五六年文部省令第三十三号）第五条の規定の例による。 備考二 通信制の課程における授業は、大学通信教育設置基準第三条第一項及び第二項に定める方法により行うものとする。ただし、同課程における臨地実習については、同条第一項に定める印刷教材等による授業及び面接授業並びに病院の見学により行うものとする。
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度	10 4	
専門分野Ⅰ	基礎看護学 臨地実習 基礎看護学	6 2 2	
専門分野Ⅱ	成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 臨地実習 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学	3 3 3 3 3 10 2 2 2 2 2	
統合分野	在宅看護論 看護の統合と実践 臨地実習 在宅看護論 看護の統合と実践	3 4 4 2 2	
合計		65	

別表三一三 (5年一貫校)

教育内容		単位数		
		高等学校	専攻科	合計
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	6	10	16
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度	7 2	8 5	15 7
専門分野Ⅰ	基礎看護学 臨地実習 基礎看護学	8 5 5	3	11 5 5
専門分野Ⅱ	成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 臨地実習 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学	2 1 1 1 5 5 3 2	4 3 3 3 4 12 4 2 2 2 2	6 4 4 4 4 17 7 4 2 2 2
統合分野	在宅看護論 看護の統合と実践 臨地実習 在宅看護論 看護の統合と実践		4 4 4 2 2	4 4 4 2 2
合計		38	67	105